JCSSA

2025年11月4日

報道関係各位

一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会(JCSSA) 〒100-6208 東京都千代田区丸の内 1-11-1

パシフィックセンチュリープレイス丸の内(受付 13 階)

Tel: 03-6860-8254

https://www.jcssa.or.jp/

連絡先 Email: tmikanohara@jcssa.or.jp

AI とセキュリティへの取り組み状況に関する 調査研究中間報告(中小規模企業対象)

一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会(会長 林宗治)は、2025年9月から10月にかけて、AIとセキュリティへの取り組み、およびシステム基盤の整備状況について調査した。

最終報告書は 2026 年 3 月中旬に当協会ホームページにて発表予定だが、中間報告として中規模・小規模一般企業を対象とした調査結果の概要をここにお知らせする。

●調査対象企業:

従業員 350 人以下の一般企業 700 社、および当協会会員の顧客企業約 300 社(従業員 21~2000 人程度)。但し、会員顧客企業のデータは現在集計・分析中である。一般企業では、従業員 2~20 人の小規模企業 50%、21~350 人の中規模企業 50%の構成比をターゲットとした。

	従業員数	2~	6~	21~	51 ~	101~	200~	301	平均
対象企業数		5人	20人	50人	100人	200人	300人	人以上	干均
中規模一般企業	350社			97	104	76	58	15	123.4人
小規模一般企業	350社	185	165						7.0人

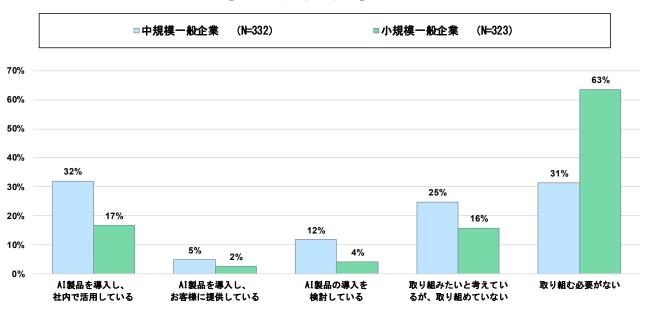
●調査結果のポイント:

- 中規模の 32%、小規模の 17%が AI 製品を社内で活用
- 利用している AI サービス上位は「データ分析・予測」、「生成 AI」、「自動化」
- AIの今年度支出額は中規模の8割、小規模の9割が1000万円未満
- セキュリティ対策は中規模の 9 割、小規模の 8 割が実施または実施予定
- セキュリティ具体策では「セキュリティルールやポリシーの整備」が中規模で8割、小規模で5割
- セキュリティ対策支出額は中規模の5割、小規模の8割が300万円未満
- パソコンの OS 利用率は、中規模の 7 割、小規模の 6 割が Windowes 11
- タブレットの OS 利用率は、中規模・小規模ともに iOS が首位



中規模の 32%、小規模の 17%が AI 製品を社内で活用

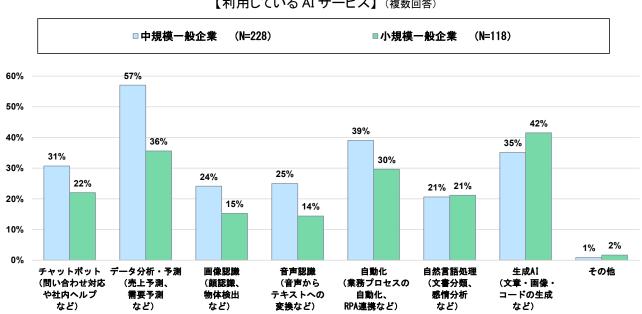
「AI製品を導入し、社内で活用している」と答えた中規模一般企業は32%、小規模一般企業は17%だった。 「取り組む必要がない」とした企業は、中規模一般企業が31%、小規模一般企業が63%で、2倍以上の差が見 られた。



【AIへの取り組み状況】(複数回答)

利用している AI サービス上位は「データ分析・予測」、「生成 AI」、「自動化」

利用している AI サービス上位は、中規模一般企業では「データ分析・予測」が 57%、「自動化」が 39%、「生成 AI」 が 35%だった。小規模一般企業では「生成 AI」が 42%、「データ分析・予測」が 36%、「自動化」が 30%となっている。 総じて「データ分析・予測」の利用割合が高い。



【利用している AI サービス】(複数回答)



AI の今年度支出額は中規模の8割、小規模の9割が1000万円未満

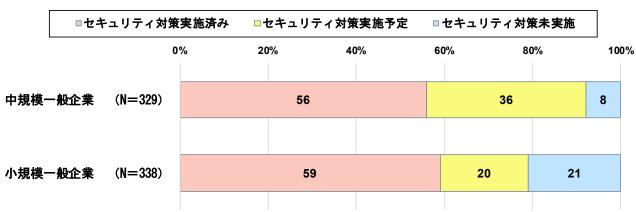
「AI の今年度支出額」を見ると、中規模一般企業の80%、小規模一般企業の93%が1000万円未満と回答。中規模一般企業は100万円以上1000万円未満が39%、小規模一般企業は10万円未満が40%を占めている。

■10万円未満 ■10万円以上、100万円未満 ■100万円以上、1000万円未満 ■1000万円以上 □不明 0% 20% 40% 60% 80% 100% 中規模一般企業 (N=114) 8 33 39 14 6 小規模一般企業 (N=57) 40 35 18 2 5

【AI の今年度支出額】(単一回答)

セキュリティ対策は中規模の9割、小規模の8割が実施または実施予定

中規模一般企業の9割、小規模一般企業の8割がセキュリティ対策実施済みまたは実施予定と回答した。中規模・小規模問わず、多くの企業がセキュリティ対策に取り組んでいる。



【セキュリティへの取り組み状況】(単一回答)



セキュリティ具体策では「セキュリティルールやポリシーの整備」が中規模で8割、小規模で5割

セキュリティ対策の具体的実施状況では、「セキュリティルールやポリシーの整備」を運用している中規模一般 企業が 80%、小規模一般企業が 52%となった。一方、「生成 AI のガイドライン整備」では、中規模一般企業は 56%、小規模一般企業は33%といずれも低水準だった。

■正しく運用されており機能している □運用されているが機能していない ■運用されていない (中規模一般企業 N=311、小規模一般企業 N=282) 20% 40% 80% 60% 100% 0% 中規模一般企業 25 55 20 セキュリティルールや ポリシーの整備 39 小規模一般企業 13 48 セキュリティ教育・ 中規模一般企業 35 34 31 トレーニングプログラムの 小規模一般企業 30 55 定期的実施 中規模一般企業 40 29 31 セキュリティインシデントへの 対応体制整備 小規模一般企業 26 62 中規模一般企業 26 33 セキュリティ対策の 定期的評価や監査 小規模一般企業 26 61 中規模一般企業 30 生成AIの ガイドライン整備 小規模一般企業 19 67 中規模一般企業 42 29 29 IT資産やOSなどの バージョン管理 小規模一般企業 26 58 中規模一般企業 33 26 41 セキュリティフレームワークを 活用したシステムの導入 小規模一般企業 20

【セキュリティ対策の具体的実施状況】(単一回答)

セキュリティ対策支出額は、中規模の5割、小規模の8割が300万円未満

「セキュリティ対策の今年度支出額」を見ると、中規模一般企業の 57%、小規模一般企業の 80%が 300 万円未 満と回答。なかでも小規模一般企業では10万円未満が45%を占める。



【セキュリティ対策の今年度支出額】(単一回答)

2024年度

2025年度 (N=340)

(N=336)



4 11

7

パソコンの OS 利用率は、中規模の 7 割、小規模の 6 割が Windowes 11

パソコンの OS 利用率は、Windows11 のシェアが中規模一般企業において 20 ポイント増加し 7 割超。小規模 一般企業では 26 ポイント増加し 6 割超となった。なお、Windows10 のシェアはともに 17%である。

※調査結果は9月22日時点のもの

■Windows 11 ■Windows 10 ■他のWindows ■Mac OS ■Chrome OS ■その他 0S 0% 20% 40% 60% 80% 100% 中規模一般企業 2 3 5 2 54 41 2024年度 (N=349) 2025年度 (N=350) 74 17 2 4 21 小規模一般企業

26

17

5

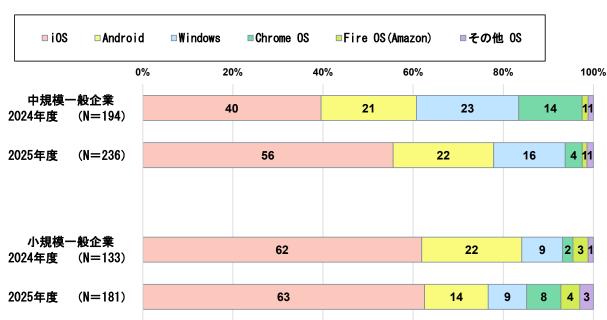
【PC の OS 別シェアの推移(台数ベース)】(自由記述)

タブレットの OS 利用率は、中規模・小規模ともに iOS が首位

タブレットの OS 利用率は、中規模一般企業において iOS のシェアが前年に比べ 16 ポイント増加しており、5 割を超えた。小規模一般企業では Android が 8 ポイント減、Chrome OS が 6 ポイント増と変化している。

61

35



【タブレットの OS 別シェアの推移(台数ベース)】(自由記述)